

《LD円形光束コリメータ》

—可視～近赤外領域までご指定波長に応じて最適設計可能なLDコリメート光学系です—

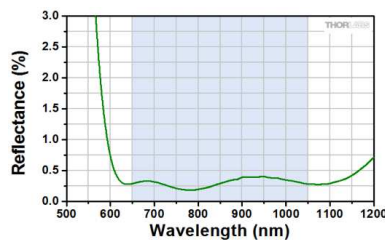
LD素子発光（異なる縦横発散角）光束を円形にコリメートしたい、というお客様の声から生まれた

＜LD円形光束コリメータ：LDC-8＞



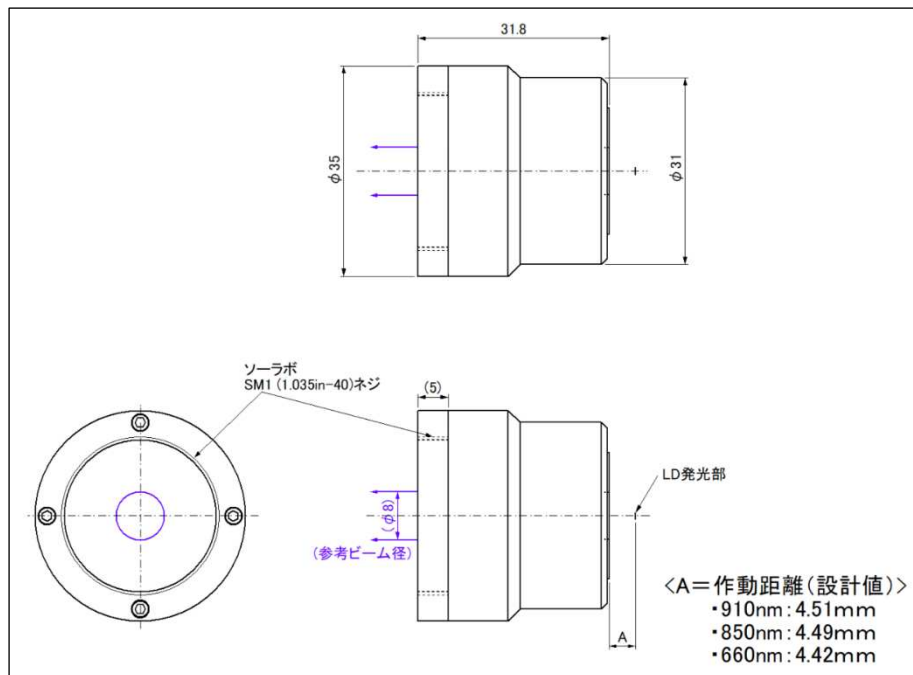
通常、LD素子からの光束をコリメートすると、LD素子発光部の角度特性（縦横方向の発散角が異なる）により、光束は「楕円」になってしまいます。本光学系は、そうした光束を「より円形に近付ける」ために開発されたものです。標準品では「LD発光光束の縦発散全角（約60°）、横発散全角（約19°）の光束」を想定しています。ご希望があればその他の「縦横発散角比光束」にも対応可能ですのでお問い合わせください。

また、LD発光部とレンズ端面までの距離（作動距離）は「4mm」程度を確保しています。そして、光学系取付け部は、標準でソーラボージャパン社の「SM1」メネジとなっていますが、ご希望に応じて種々の取付け形状に変更することも可能です。

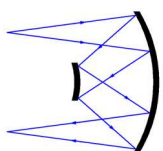


左図は「[近赤外領域（650nm～1050nm）の波長域に特化した特別なAR（減反射）コート](#)」の分光反射率を示しています。これ以外の減反射コートにも対応可能ですので、お問い合わせください。

また、下図は本光学系の外観図で、近赤外波長領域での作動距離（設計値）を示しています。



●改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございますのでご了承ください。



株式会社 オプトメカ エンジニアリング

〒434-0015 静岡県浜松市浜名区於呂3923-10

TEL/FAX: 053-583-0682

Eメール: optomecha_engin@star.tnc.ne.jp

ホームページ: <https://opto-mecha.com>